

人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻（医学の課程）

専攻共通科目（疾患制御）

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|------------|-------|------------------|--|------------------------------------|
| 02EX001 | イニシエーションセミナー | 1 | 1.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 千葉 滋 | 医学系博士課程専攻修了者に対する社会のニーズを正しく理解し、大学院生の個性をキャリアに繋ぐための3種類のコースワーク（インテンシブ・リサーチコース、クリニカル・リサーチコースおよびパブリック・リサーチコース）のそれぞれの学修内容と目的ならびにキャリアパスとの関係を理解する。 | 必修（24年度以前入学者のみ）*25年度以降入学者は履修できません。 |
| 02EX002 | 医学研究概論 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 木・金 7,8 | 4A203 | 藤本 学 | 医学研究を始めるために必要な試薬の管理や実験廃液処理の方法、遺伝子組換え実権や動物実験の完全操作と研究マナーについて学習し、新しい医学研究の動向や研究方法論などの基礎を学ぶ。 | 必修 |
| 02EX003 | 医学セミナー | 2 | 3.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 疾患制御医学専攻長、教務委員長 | 専攻の担当教員または非常勤講師による医学系研究セミナーを受講し、講師との質疑応答に参加する。そして、関連分野の原著論文を読み、その研究分野の背景、研究方法、および研究成果の特徴について理解する。加えて、今後の課題、医学研究における当該研究の意義について考察する。 | 必修 |
| 02EX004 | 医学特殊研究 | 2 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 疾患制御医学専攻長、研究指導教員 | 研究指導教員の個別指導によって、学位論文のテーマの設定に必要な基礎的知識の取得方法とその内容について学ぶ。また討論を通じて各自の研究テーマを設定し、その研究実施に必要な研究方法を選択し、必要な申請手続きを行い、博士論文作成の見通しを立てる。 | Compulsory |
| 02EX005 | 医学特別演習 | 2 | 5.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 疾患制御医学専攻長、研究指導教員 | 各指導教員から研究指導を受け、研究結果に対する解析の仕方を学び、その意義について理解するとともに、研究成果に基づいた次の研究計画を立案し、それを実行することを繰り返す。 | 必修 |
| 02EX007 | 国際実践医学研究特論 | 1 | 3.0 | 1 - 4 | 通年 | 応談 | | 千葉 滋 | 国際会議や国際共同研究に参加し、情報の交換と理解、および研究実践による先端技術と論理的思考方法を涵養する（国際派遣）。海外から招聘した研究者や大学院生と議論することにより、国際的に運用する研究を体感すると共に発表方法・語学力を身につける。それらの知的基盤を土台として、世界的な研究視野に基づく独創的研究を生み出すことの必要性について理解する（招聘国際セミナー）。大学院教育の本質を理解するために、途上国との海外教育研究協力を積極的に参加して、大学院教育カリキュラム作成に携わり、大学院教育の理念について知識を深める（海外医学教育）。 | 英語で授業。 |
| 02EX008 | 臨床研究方法論 | 2 | 3.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 疾患制御医学専攻長、全教員 | 最新の臨床研究の水準を理解するために、英文原著論文・総説を読み、その内容を説明できるようにする。臨床現場で得た研究のシーズにその論文検討で得た成果を当てはめ、自らの研究テーマにどう役立てるかを明らかにできるようにする。 | |
| 02EX009 | 最先端医学研究セミナー | 1 | 3.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 島野 仁、疾患制御医学専攻全教員 | ポストゲノム時代の医学生物学研究を支える新たな技術や概念について講義を受け、内容について討論を行なう。主な内容は、以下のとおりである。(1)哺乳動物遺伝学：遺伝子改変マウスをはじめとした哺乳動物モデルを用いた最先端の医学生物学研究について、技術基盤と有用性を学ぶ。(2)医学物理・化学：最先端の研究機器や物理化学的技術について、またこれらを駆使した最先端の研究について聴講し、医学生物学研究に必要な物理学、物理化学、化学的知識について理解する。 | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------------------------|------|-----|--------|------|------|-------|-------------------|--|---------------------|
| 02EX010 | 橋渡し研究マネジメント | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 月6,7 | 4F204 | 橋本 幸一 | 医薬品や治療器具、医用材料の開発や治療・診断装置の開発においては倫理的に問題の無い方法による安全性・有効性の科学的実証研究(前臨床研究、臨床研究(治験))は欠かせないが、最近では予防医学的観点に立った機能性食品等の開発においても医薬品開発と同様の安全性・有効性の科学的実証研究(臨床研究(治験))が欠かせないものとなってきている。こうした状況にあつて倫理的・科学的観点のみならず技術経営的観点(技術動向の理解、事業化の方向性企画・立案・検証、リスクマネジメント、知識マネジメント等)に立脚し戦略的に医療・医薬・健康に関わる研究開発のマネジメントを担える人材(主任研究医師、医療・医薬・健康研究開発マネージャー)を目指し、専門知識と関連する知識を習得する。 | 英語で授業。 |
| 02EX011 | 医科学教育実習 | 3 | 1.0 | 2・3 | 通年 | 応談 | | 疾患制御医学専攻長, 研究指導教員 | 専攻の人材養成の目的を理解し、担当する科目の目標、学習内容、評価基準を作成し、授業と試験問題の作成・採点を実施する。また、学生と指導教員からの授業評価を受け、次年度のシラバスを改善する。 | |
| 02EX013 | 外国人医学者とのコミュニケーション演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 火6 | | 我妻 ゆき子, 福重 瑞穂 | This discussion seminar is open to all students in the medical program including international students. We will read current issue articles in publications such as Nature, and students will be encouraged to think about and express opinions about those issues. The focus will be the medical field and how it connects to broader social, economic, and political matters. | 医学121で実施。 英語で授業。 |
| 02EX014 | English Topics in Science I | 2 | 1.0 | 1 - 4 | 春C | 火・木4 | | マティス ブライアン ジェームズ | To reinforce English vocabulary and fluency in discussing scientific concepts in a diverse array of research fields while introducing cutting edge technologies. Students will develop critical thinking and questioning skills for use in conferences, presentations and daily scientific work. | 英語で授業。 |
| 02EX015 | English Topics in Science II | 2 | 1.0 | 1 - 4 | 秋C | 火・木4 | | マティス ブライアン ジェームズ | To reinforce English vocabulary and fluency in discussing scientific concepts in a diverse array of research fields while introducing cutting edge technologies. Students will develop critical thinking and questioning skills for use in conferences, presentations and daily scientific work. | 英語で授業。 |

専門科目(疾患制御)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------|------|-----|--------|------|-----|----|-------------------|---|------------------------------------|
| 02EX101 | 疾患制御医学概論 | 1 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 千葉 滋 | 専攻内のそれぞれの研究分野についての理解を深め、実際に行なわれている研究内容や方法論を知り視野を広げ、異なる分野の研究者と討論する機会を与え研究交流を促進する。 | 必修(H24年度入学者のみ) *25年度以降入学者は履修できません。 |
| 02EX259 | 疾患制御医学特殊研究 | 2 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 疾患制御医学専攻長, 研究指導教員 | 専攻内各研究グループにおいて、実際におこなわれている研究に関して、背景、目的、方法、結果、結論、考察に関して議論し、今後の方向性を検討して、論文発表の準備をする。 | 必修 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|----|
| 02EX260 | 臨床病態解明学特論I | 1 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 莊介, 成松 久, 宮本 憲優 | <p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>磯辺 智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。</p> <p>新井 哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>五所 正彦 生物統計学の理論および実践研究</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の</p> <p>柳 健一 実施およびマネジメントによる地域</p> <p>荒川 義弘 医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 莊介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す</p> <p>宮本 憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究</p> | |
| 02EX261 | 臨床病態解明学特論II | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 莊介, 成松 久, 宮本 憲優 | <p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>磯辺 智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。</p> <p>新井 哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>五所 正彦 生物統計学の理論および実践研究</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の</p> <p>柳 健一 実施およびマネジメントによる地域</p> <p>荒川 義弘 医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 莊介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す</p> <p>宮本 憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究</p> | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|----|
| 02EX262 | 臨床病態解明学演習I | 2 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 宮本 憲優 | <p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>磯辺 智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。</p> <p>新井 哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>五所 正彦 生物統計学の理論および実践研究</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の</p> <p>柳 健一 実施およびマネジメントによる地域</p> <p>荒川 義弘 医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す</p> <p>宮本 憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究</p> | |
| 02EX263 | 臨床病態解明学演習II | 2 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 宮本 憲優 | <p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>磯辺 智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。</p> <p>新井 哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間 真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>五所 正彦 生物統計学の理論および実践研究</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の</p> <p>柳 健一 実施およびマネジメントによる地域</p> <p>荒川 義弘 医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す</p> <p>宮本 憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究</p> | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|------|----|--|--|----|
| 02EX264 | 臨床病態解明学実験実習I | | 3 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 宮本 憲優 | <p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>磯辺 智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。</p> <p>新井 哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>五所 正彦 生物統計学の理論および実践研究</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の</p> <p>柳 健一 実施およびマネジメントによる地域</p> <p>荒川 義弘 医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す</p> <p>宮本 憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究</p> | |
| 02EX265 | 臨床病態解明学実験実習II | | 3 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 荘介, 成松 久, 宮本 憲優 | <p>前野 哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井 英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>磯辺 智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。</p> <p>新井 哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。</p> <p>高橋 祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻 ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>五所 正彦 生物統計学の理論および実践研究</p> <p>橋本 幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の</p> <p>柳 健一 実施およびマネジメントによる地域</p> <p>荒川 義弘 医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田 桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好 荘介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す</p> <p>宮本 憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究</p> | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|--|
| 02EX266 | 臨床病態解明学特論I | 1 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 莊介, 成松 久, 宮本 憲優 | 前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う 南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見 櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ 磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。 新井哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究 田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する 井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範 本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。 高橋祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義 我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用 五所正彦 生物統計学の理論および実践研究 橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の 柳 健一 実施およびマネジメントによる地域 荒川義弘 医療、地域産業の活性化 宮田桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ 三好莊介(連) メーキング 成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す 宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究 | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |
| 02EX267 | 臨床病態解明学特論II | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 莊介, 成松 久, 宮本 憲優 | 前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う 南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見 櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ 磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。 新井哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究 田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する 井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範 本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。 高橋祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義 我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用 五所正彦 生物統計学の理論および実践研究 橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の 柳 健一 実施およびマネジメントによる地域 荒川義弘 医療、地域産業の活性化 宮田桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ 三好莊介(連) メーキング 成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す 宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究 | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|------|----|--|--|--|
| 02EX268 | 臨床病態解明学実験実習I | | 3 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 莊介, 成松 久, 宮本 憲優 | <p>前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。</p> <p>新井哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。</p> <p>高橋祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>五所正彦 生物統計学の理論および実践研究</p> <p>橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の</p> <p>柳 健一 実施およびマネジメントによる地域</p> <p>荒川義弘 医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好莊介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す</p> <p>宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究</p> | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |
| 02EX269 | 臨床病態解明学実験実習II | | 3 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | | 前野 哲博, 南 学, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 新井 哲明, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 高橋 祥友, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 柳 健一, 荒川 義弘, 宮田 桂司, 三好 莊介, 成松 久, 宮本 憲優 | <p>前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う</p> <p>南 学 放射線医学の臨床応用の最新の知見</p> <p>櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ</p> <p>磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。</p> <p>新井哲明 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究</p> <p>田中 誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する</p> <p>井上 貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範</p> <p>本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。</p> <p>高橋祥友 大規模災害時の被災者及び救援者の精神的健康の維持に関する講義</p> <p>我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用</p> <p>五所正彦 生物統計学の理論および実践研究</p> <p>橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の</p> <p>柳 健一 実施およびマネジメントによる地域</p> <p>荒川義弘 医療、地域産業の活性化</p> <p>宮田桂司(連) 創薬現場における魅力的なバイオイ</p> <p>三好莊介(連) メーキング</p> <p>成松 久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す</p> <p>宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究</p> | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|------|----|--|---|----|
| 02EX270 | 臨床外科学特論I | | 1 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | 西山 博之, 島居 徹, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 大鹿 哲郎, 武川 寛樹 | <p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>島居 徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療</p> <p>平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</p> <p>佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説</p> <p>市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ</p> <p>山崎正志 増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する</p> <p>関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建</p> <p>原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>佐藤豊実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>濱田洋実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>松村 明 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>小松洋治 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う</p> <p>大鹿哲郎 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論</p> <p>武川寛樹</p> | |
| 02EX271 | 臨床外科学特論II | | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | 西山 博之, 島居 徹, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 大鹿 哲郎, 武川 寛樹 | <p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</p> <p>島居 徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療</p> <p>平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</p> <p>佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説</p> <p>市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ</p> <p>山崎正志 増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する</p> <p>関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建</p> <p>原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</p> <p>佐藤豊実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</p> <p>濱田洋実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</p> <p>松村 明 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</p> <p>小松洋治 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う</p> <p>大鹿哲郎 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論</p> <p>武川寛樹</p> | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|-----|----|---|---|----|
| 02EX272 | 臨床外科学演習I | 2 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | <p>西山博之, 島居徹, 平松祐司, 佐藤幸夫, 市村秀夫, 山崎正志, 増本幸二, 関堂充, 原尚人, 佐藤豊実, 濱田洋実, 松村明, 小松洋治, 大鹿哲郎, 武川寛樹</p> | <p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する 島居徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する 佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ 山崎正志 増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する 関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 佐藤豊実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う 濱田洋実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 松村明 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める 小松洋治 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う 大鹿哲郎 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 武川寛樹</p> | |
| 02EX273 | 臨床外科学演習II | 2 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | <p>西山博之, 島居徹, 平松祐司, 佐藤幸夫, 市村秀夫, 山崎正志, 増本幸二, 関堂充, 原尚人, 佐藤豊実, 濱田洋実, 松村明, 小松洋治, 大鹿哲郎, 武川寛樹</p> | <p>西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する 島居徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する 佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ 山崎正志 増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する 関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 佐藤豊実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う 濱田洋実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 松村明 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める 小松洋治 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う 大鹿哲郎 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 武川寛樹</p> | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|---|---|----|
| 02EX274 | 臨床外科学実験実習 I | 3 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 西山 博之, 島居 徹, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 大鹿 哲郎, 武川 寛樹 | 西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する 島居 徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する 佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ 山崎正志 増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する 関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 佐藤豊実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う 濱田洋実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 松村 明 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める 小松洋治 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う 大鹿哲郎 武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 | |
| 02EX275 | 臨床外科学実験実習 II | 3 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 西山 博之, 島居 徹, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 大鹿 哲郎, 原 晃, 武川 寛樹 | 西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する 島居 徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する 佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ 山崎正志 増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する 関堂 充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 原 尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 佐藤豊実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う 濱田洋実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 松村 明 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める 小松洋治 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う 大鹿哲郎 武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|-----|----|---|---|--|
| 02EX276 | 臨床外科学特論I | 1 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 西山 博之, 島居 徹, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 大鹿 哲郎, 武川 寛樹 | 西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する 島居 徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する 佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ 山崎正志 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する 増本幸二 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 関堂 充 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 原 尚人 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う 佐藤豊実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 濱田洋実 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める 松村 明 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う 小松洋治 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 大鹿哲郎 | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |
| 02EX277 | 臨床外科学特論II | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 西山 博之, 島居 徹, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 大鹿 哲郎, 武川 寛樹 | 西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する 島居 徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する 佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ 山崎正志 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する 増本幸二 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 関堂 充 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 原 尚人 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う 佐藤豊実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 濱田洋実 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める 松村 明 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う 小松洋治 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 大鹿哲郎 | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|---|---|--|
| 02EX278 | 臨床外科学実験実習 I | 3 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 西山 博之, 島居 徹, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 大鹿 哲郎, 武川 寛樹 | 西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する 島居 徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する 佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ 山崎正志 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する 増本幸二 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 関堂 充 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 原 尚人 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う 佐藤豊実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 濱田洋実 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める 松村 明 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う 小松洋治 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 大鹿哲郎 | Open to Day/Evening Course students 昼夜制学生に限る |
| 02EX279 | 臨床外科学実験実習 II | 3 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 西山 博之, 島居 徹, 平松 祐司, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 山崎 正志, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 大鹿 哲郎, 武川 寛樹 | 西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する 島居 徹 消化器外科学 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する 佐藤幸夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 市村秀夫 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ 山崎正志 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する 増本幸二 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 関堂 充 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 原 尚人 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う 佐藤豊実 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 濱田洋実 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める 松村 明 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う 小松洋治 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 大鹿哲郎 | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|------|----|--|---|----|
| 02EX280 | 臨床内科学特論I | | 1 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | <p>千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など 正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する 青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う 宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う 本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて 小池 朗 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う 檜澤伸之 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う 石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究 佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究 玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の療開発 野牛宏晃 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 川上 康 病院感染の疫学 藤本 学 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 鴨田知博 治 堀米仁志 療開発 人見重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 矢野晴美 病院感染の疫学 関根郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究</p> | |
| 02EX281 | 臨床内科学特論II | | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | <p>千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など 正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する 青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う 宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う 本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて 小池 朗 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う 檜澤伸之 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う 石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究 佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究 玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の療開発 野牛宏晃 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 川上 康 病院感染の疫学 藤本 学 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 鴨田知博 治 堀米仁志 療開発 人見重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 矢野晴美 病院感染の疫学 関根郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究</p> | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|------|----|--|--|----|
| 02EX282 | 臨床内科学演習I | | 2 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 榎澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | <p>千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤</p> <p>兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など</p> <p>正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防</p> <p>谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する</p> <p>青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う</p> <p>宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う</p> <p>本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて</p> <p>小池 朗 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う</p> <p>榎澤伸之 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う</p> <p>石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究</p> <p>佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究</p> <p>家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究</p> <p>玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発</p> <p>山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性</p> <p>二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査</p> <p>住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。</p> <p>島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発</p> <p>野牛宏晃 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、</p> <p>川上 康 病院感染の疫学</p> <p>藤本 学 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究</p> <p>鴨田知博</p> <p>堀米仁志</p> <p>人見重美</p> <p>矢野晴美</p> <p>関根郁夫</p> | |
| 02EX283 | 臨床内科学演習II | | 2 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 榎澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | <p>千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤</p> <p>兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など</p> <p>正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防</p> <p>谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する</p> <p>青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う</p> <p>宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う</p> <p>本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて</p> <p>小池 朗 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う</p> <p>榎澤伸之 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う</p> <p>石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究</p> <p>佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究</p> <p>家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究</p> <p>玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発</p> <p>山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性</p> <p>二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査</p> <p>住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。</p> <p>島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発</p> <p>野牛宏晃 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、</p> <p>川上 康 病院感染の疫学</p> <p>藤本 学 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究</p> <p>鴨田知博</p> <p>堀米仁志</p> <p>人見重美</p> <p>矢野晴美</p> <p>関根郁夫</p> | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------|------|-----|--------|------|-----|----|---|---|----|
| 02EX284 | 臨床内科学実験実習Ⅰ | 3 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 檜 澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | 千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など 正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する 青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う 宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う 本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて 小池 朗 主要呼吸器疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う 檜澤伸之 主要呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う 石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究 佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究 玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発 野牛宏晃 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 川上 康 病院感染の疫学 藤本 学 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 鴨田知博 | |
| 02EX285 | 臨床内科学実験実習Ⅱ | 3 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 檜 澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | 千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など 正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する 青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う 宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う 本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて 小池 朗 主要呼吸器疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う 檜澤伸之 主要呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う 石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究 佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究 玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発 野牛宏晃 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 川上 康 病院感染の疫学 藤本 学 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 鴨田知博 | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|------|----|---|---|--|
| 02EX286 | 臨床内科学特論I | | 1 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 檜 澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | <p>千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤</p> <p>兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など</p> <p>正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防</p> <p>谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する</p> <p>青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う</p> <p>宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う</p> <p>本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて</p> <p>小池 朗 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う</p> <p>檜澤伸之 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う</p> <p>石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究</p> <p>佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究</p> <p>家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究</p> <p>玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発</p> <p>山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性</p> <p>二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査</p> <p>住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。</p> <p>島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の</p> <p>野牛宏晃 療開発</p> <p>川上 康 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、</p> <p>藤本 学 病院感染の疫学</p> <p>鴨田知博 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究</p> <p>治 療開発</p> <p>堀米仁志 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、</p> <p>人見重美 病院感染の疫学</p> <p>矢野晴美 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究</p> <p>関根郁夫</p> | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |
| 02EX287 | 臨床内科学特論II | | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼 和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 檜 澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | <p>千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤</p> <p>兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など</p> <p>正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防</p> <p>谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する</p> <p>青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う</p> <p>宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う</p> <p>本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて</p> <p>小池 朗 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う</p> <p>檜澤伸之 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う</p> <p>石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究</p> <p>佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究</p> <p>家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究</p> <p>玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発</p> <p>山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性</p> <p>二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査</p> <p>住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。</p> <p>島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の</p> <p>野牛宏晃 療開発</p> <p>川上 康 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、</p> <p>藤本 学 病院感染の疫学</p> <p>鴨田知博 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究</p> <p>治 療開発</p> <p>堀米仁志 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、</p> <p>人見重美 病院感染の疫学</p> <p>矢野晴美 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究</p> <p>関根郁夫</p> | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|---|---|--|
| 02EX288 | 臨床内科学実験実習I | 3 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 榎澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | 千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など 正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する 青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う 宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う 本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて 小池 朗 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う 榎澤伸之 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う 石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究 佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究 玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の療開発 野牛宏晃 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 川上 康 病院感染の疫学 藤本 学 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 鴨田知博 治 堀米仁志 療開発 人見重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 矢野晴美 病院感染の疫学 関根郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |
| 02EX289 | 臨床内科学実験実習II | 3 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 千葉 滋, 兵頭 一之介, 正田 純一, 谷中 昭典, 青沼和隆, 宮内 卓, 本間 覚, 小池 朗, 榎澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 家城 隆次, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 二宮 治彦, 住田 孝之, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 藤本 学, 鴨田 知博, 堀米 仁志, 人見 重美, 矢野 晴美, 関根 郁夫 | 千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 兵頭一之介 消化器がんの分子標的治療や遺伝子治療など 正田純一 H. pylori及び胃酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 谷中昭典 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する 青沼和隆 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う 宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う 本間 覚 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて 小池 朗 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学的立場から討論・実験を行う 榎澤伸之 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌)からテーマを選び、研究実験を行う 石井幸雄 神経変性疾患の分子病態に関する研究 佐藤浩昭 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 家城隆次 造血系の機能・生理および血液凝固・線溶系の機構、これらに異常をきたした場合の治療・制御法の研究 玉岡晃 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 山縣邦弘 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 二宮治彦 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 住田孝之 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 島野 仁 発生・発達過程の解析と小児疾患の療開発 野牛宏晃 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 川上 康 病院感染の疫学 藤本 学 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 鴨田知博 治 堀米仁志 療開発 人見重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、 矢野晴美 病院感染の疫学 関根郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------|------|-----|--------|------|------|----|--------------|--|--|
| 02EX293 | 社会医学特論I | | 1 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスリサーチ遂行のための基本的知識・技術を修得する。 | |
| 02EX294 | 社会医学特論II | | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスリサーチ遂行のための基本的知識・技術を修得する。 | |
| 02EX295 | 社会医学演習I | | 2 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスに関連する原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果、考察のあり方を理解し、その研究の意義や限界、今後の課題について討論する。 田宮菜奈子 内外の医療介護サービス提供の現状とその課題を、最新のヘルスサービスリサーチ文献抄読と討論から修得する。 | |
| 02EX296 | 社会医学演習II | | 2 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスに関連する原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果、考察のあり方を理解し、その研究の意義や限界、今後の課題について討論する。 田宮菜奈子 内外の医療介護サービス提供の現状とその課題を、最新のヘルスサービスリサーチ文献抄読と討論から修得する。 | |
| 02EX297 | 社会医学実験実習I | | 3 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスに関連する臨床データの収集方法や解析、事例インタビューの技法について、その原理や手法を実践から学ぶ。研究目的や方法を臨床的視点から理解し、自ら実施したデータ収集や分析の意義、問題点などについて討論する。 田宮菜奈子 自らのリサーチエクステションをもとに、質の高い研究デザインを構築するプロセスを、教員、外部からの専門家・経験者や同僚との討論を通じて身に着ける | |
| 02EX298 | 社会医学実験実習II | | 3 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスに関連する臨床データの収集方法や解析、事例インタビューの技法について、その原理や手法を実践から学ぶ。研究目的や方法を臨床的視点から理解し、自ら実施したデータ収集や分析の意義、問題点などについて討論する。 田宮菜奈子 自らのリサーチエクステションをもとに、質の高い研究デザインを構築するプロセスを、教員、外部からの専門家・経験者や同僚との討論を通じて身に着ける | |
| 02EX299 | 社会医学特論I | | 1 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスリサーチ遂行のための基本的知識・技術を修得する。 | Open to Day/Evening course students. 昼夜制学生に限る |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------|------|-----|--------|------|------|-------|----------------------|---|---|
| 02EX300 | 社会医学特論II | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスリサーチ遂行のための基本的知識・技術を修得する。 | Open to Day/Evening Course students 昼夜制学生に限る |
| 02EX301 | 社会医学実験実習I | 3 | 2.0 | 1・2 | 春ABC | 応談 | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスに関連する臨床データの収集方法や解析、事例インタビューの技法について、その原理や手法を実践から学ぶ。研究目的や方法を臨床的視点から理解し、自ら実施したデータ収集や分析の意義、問題点などについて討論する。 田宮菜奈子 自らのリサーチクエストをもとに、質の高い研究デザインを構築するプロセスを、教員、外部からの専門家・経験者や同僚との討論を通じて身に着ける | Open to Day/Evening Course students 昼夜制学生に限る |
| 02EX302 | 社会医学実験実習II | 3 | 2.0 | 1・2 | 秋ABC | 応談 | | 齋藤 環, 田宮 菜奈子 | 齋藤 環 メンタルヘルスに関連する臨床データの収集方法や解析、事例インタビューの技法について、その原理や手法を実践から学ぶ。研究目的や方法を臨床的視点から理解し、自ら実施したデータ収集や分析の意義、問題点などについて討論する。 田宮菜奈子 自らのリサーチクエストをもとに、質の高い研究デザインを構築するプロセスを、教員、外部からの専門家・経験者や同僚との討論を通じて身に着ける | Open to Day/Evening Course students 昼夜制学生に限る |
| 02EX230 | 臨床試験論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 火7,8 | 4F204 | 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 福重 瑞穂 | 臨床試験は、病気に対する新しい治療法や薬の安全性・有効性を検証するために行われる。ヒトを対象とした医学研究である。臨床試験は厳密な科学性と倫理性を兼ね備える必要があるため、GCP (Good Clinical Practice) と呼ばれる基準に従って実施される。本講義では、GCPに沿って臨床試験のデザインから実行までを概観する。 | |
| 02EX231 | 医生物統計学概論 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 水3 | 4F204 | 五所 正彦, 丸尾 和司 | 医学研究で用いられるサンプリング手法、統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ、自ら医学研究を計画したときに応用できるようになることを目標とする。 | |
| 02EX292 | 医生物統計学特論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 水4,5 | 4B212 | 五所 正彦, 丸尾 和司 | 医学研究で重要な生存時間解析について学習し、実際の臨床試験データに応用できるようにする。 | |
| 02EX232 | 医生物統計学実習 | 3 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 水6,7 | 4B212 | 五所 正彦, 丸尾 和司 | 統計解析ソフトウェアを用いて、医学データ解析に用いられる統計手法の実践について学ぶ。 | |
| 02EX290 | 疫学特論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 火3,4 | 4F305 | 我妻 ゆき子, 福重 瑞穂 | 疫学の原理と応用について学ぶ。情報科学や統計科学を用いて行われる疫学研究や臨床研究への応用についても学び、EBM (Evidence-Based Medicine) の研究に役立たせる。また、疫学的手法を用いた演習を実施し、疫学の実践を理解する。 | トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生は必修 |